



今月のトピック

特集 ●

いのちにありがとう 『えんとこの歌』は語りかける

まちの市民力! ● NPO 法人 neomura

キラリ世田谷人 ● 神林 俊一さん



イラストレーション ● なかじまあゆみ
 絵本やイラスト、詩、童話などの創作を行う。映画「あい」出演。
 9月6日(金)～23日(月) 千歳烏山にあるコミュニティ・カフェななつので個展を開催します。

●わたしの世田谷

7才から暮らしています。古いものが残っているところと、人びとがのんびりとしていて温かいところが好きです。

いのちにありがとう 『えんとこの歌』は語りかける

去る7月29日、ドキュメンタリー映画『えんとこの歌』の上映会が、遠藤さん（左から3人目、4人目）と伊勢監督（右から3人目、4人目）の二人の共同制作映画。遠藤さんは「最高の映画なんじゃないか」とトークで語りました。



遠藤さんと伊勢監督（右から3人目、4人目）

あの夏から3年

3年前の7月26日に起こったことを覚えていてでしょうか。相模原の津久井やまゆり園で19人の障がい者のいのちが奪われた事件です。一人ひとりの名前は明かされずに、「19人」と括られました。衝撃の事件であつたにもかかわらず、報道はただちにフェイドアウトし、「特異な人物による事件」と片付けられたかのようです。容疑者は「障害者は生きる価値がない」と信じ、「意志疎通のできない人たち」と決めつけて刃物をつきつけました。「障がい者に生きる価値はあるのか」そんな問いに対し、『えんとこの歌』は明白に解答を突きつけます。

「優れたドキュメンタリー映画を観る会」の代表で、毎年下高井戸シネマでドキュメンタリー映画祭を続けている飯田光代さんは、相模原事件から3年目のこの時期にどうしても『えんとこの歌』を

上映しなくては、との思いに駆られました。

2年前の映画祭では『夏の嵐のあとで』と題し、障がいのある方々のことを取り上げた映画をいくつか紹介しました。会を立ち上げるきっかけとなったドキュメンタリー映画『奈緒ちゃん』からずっと、伊勢真一監督とともに、飯田さんは彼の映画を世田谷で上映し続けています。

遠藤さんと介助者が主人公

「えんとこ」とは「遠藤滋のいるところ、縁（えん）のあるところ」という意味です。仮死状態で生まれ、脳性マヒをもった遠藤さんは、伊勢監督の大学時代の友人です。『奈緒ちゃん』の上映会を遠藤さんが世田谷で行なったことで、2人は再会し、伊勢さんは友人と介助をする仲間たちの日々を追った第1作『えんとこ』を1999年に制作しました。

「恐ろしき」

事件ならずや 十九人
元職員に 刺殺さるとは」

相模原の事件でまず思い出したのが遠藤さんのこと。伊勢さんは無性に会いたくなり、久しぶりに訪ねてカメラを回し始めました。70代の遠藤さん、20年前より症状は重くなり、話すことも困難になつていましたが、からだの中にほとぼしる思いを50代から短歌に託して表わすようになっていました。今度の『えんとこの歌』は、短歌が構成の軸になつて展開する映画です。ひとつひとつの単語を



ふり絞るように発する音を介助者が何度も聞き直しながらパソコンに入力していきます。

「何といふ 偶然なるや

現世（うつしよ）に

仮死（かし）に産まれて

息吹き返すとは」

映画の冒頭に詠まれる歌ですが、ここから遠藤さんの人生が始まります。寝たきりでアパートに暮らす遠藤さんには24時間の介助が不可欠です。一日二交代制のシフトに穴を空けることは絶対にできません。「生きようと思う」人と「どうしても生きさせたい」人たちのいのちの連携プレーが営まれます。

『えんとこの歌』の主人公は、遠藤さんであり、そして一人ひとりの介助者。伊勢さんは言います。「これは介助のメンバーの物語でもあります。遠藤さんのところにきたベストメンバーですね」い

ろんな人たちがいろんなきつかけや動機で集まってきました。ミュージシャンも、主婦も、不登校だった若者も……。「遠藤さんは自分で自分のことを『漂流老人シゲポン』で言っていましたけど、遠藤さんだけじゃなくて、自分たちも漂流してここに流れ着いたみたいな」という介助者の谷ぐち順さん。30年もの長い間、傍らにいた小島さんは「師匠ですからね。僕の福祉の思想は全部、遠藤さんが根本にありますから」と言います。

「手から手へ

都会の底に渡さるる

わがいのちこそ漂流せるかな」

「自らのいのちに立ちて

生きあえる

絆を求め 我は生き来（こ）し」

「えんとこ」が初めての介助の現場、という人もいます。遠藤さんの介助の仕方は、経験者が後か



介助の若者たちに囲まれて
写真/えんとこを支える会 HP より

「いわゆる専門の介護職の方は早くに辞めていってしまふんだよね。遠藤に合わせてやる介助だから、知識とか経験が当てはまらなくなっちゃうんだろな」と伊勢さん。介護の現場が当事者主体へと次第にシフトしていつている今を「えんとこ」はどうに先取りしていたようです。

遠藤さんと介助者のやり取りを観ていると、どっちが「する側」なのか「される側」なのか、わからなくなってしまうことがあり

ます。小4から学校に行かなくなった日下部さんは「ここに来てちよつとずつ自分に自信がついてきたっていうの、大きいですね」と語り、「最初は怖かったけれど、遠藤さんと話したいという気持ちですぐいい出てきて…。やつぱり話して伝わる嬉し…。ずっと頭でわからうとばかりしてきちゃったから…。ご自身の身体を通して教えてくれるんです」

「えんとこ」は人生の「学びのところ」。遠藤さんは大学を出た後、重度障害者として初めて東京都の教員に採用され、母校の光明養護学校（当時）で国語を教えていました。立つて授業をすることはままならなくなっても、遠藤さんはベッドの上で人生の師であり続けています。

ありのままのいのちを生かし合う

上映後、伊勢さんはトークの中

で「僕は遠藤の動く遺影を撮りに来たんです。冗談ですけど…。いろんな角度からしつかり撮ろうと。だからこの映画は顔の映画です。実に表情が豊かで、こんなに表情で見せる役者はいません」と語りますが、最初から強い眼差しの遠藤さんの横顔が迫ります。「生きる」という意志が静かな中にほとばしり、圧倒されます。

「自らを
他人と比ぶることなかれ
同じいのちは他に一つなし」

顔もさることながら、映画で遠藤さんは裸の自分をすべてさらします。最初は集中できないから遠慮してもらいたかったという排泄の場面の撮影も「覚悟して全部撮ってもらう」と。伊勢さん宛のメールにはこう書かれていました。「これまでベッドでありのままの自分をさらして生きてきた。これからも、ありのままのいのち

を生かし合いながら生きることこそを、「えんとこ」からメッセージしたいのだ」と。排泄する遠藤さんの様子が、まるで実況中継のように語られ、観客は「成果」に思わず安堵します。

就寝前の毎晩かかさない口腔ケアにける時間は2時間。口の中を清潔に保つことが命を守ることに繋がるからです。こういう場面をひとつとつても、「いのちを決しておろそかにはできない」という、頭ではわかっているつもり



海に入って満面の笑みの遠藤さん

「真理」が「現実」に降りてきます。「自分が行かなかったら遠藤さんもう死んじゃうじゃない?」遠藤さんの生活にもダイレクトに影響がでちゃうから、休んじやえとは絶対にならないのだ」と介助者のリーダー的存在、谷ぐちさんは言います。「『介助をやつてる時間』というよりは『遠藤さんと過ごしている時間』なのだ」と。

「君はひとりで勝手に何かをやつてゆくことなんてできないだろう?」

寝たきりの遠藤さんが西伊豆に行くシーン。車椅子で海の中に入り、介助者に支えられて海の中で浮き、立って歩いているかのように満面の笑みに思わず「やったあ!」と叫びたくなる感動的な場面でした。

相模原の事件のことを思い、「障がいにも、重いも軽いもない。障がいのある無しも関係ない。障がい

がなくても誰だつて欠けているところがある」と、介助者の小島さんは言います。社会から隔離され名前も明かさずに暮らすのではなく、地域の中でいのちを生かし合いながら「寄り合つて」いく、「えんとこ」のような場が当たり前にある世の中。誰でも誰かの助けを借りなければ生きていけない、お互いに迷惑を掛け合つて生きていけばいいんだ、ということを持共有できる社会、そんな可能性を『えんとこの歌』は見せてくれます。

「障害の 身があればこそ
手をかりて
創造的に我は生きたし」

映画の最後に映し出される歌に大きくうなずきます。

「激しくもわが抛り所探りきて
障害持つ身に

『いのちにありがたう』」

(取材／編集委員 星野弥生)

用賀のまちを盛り上げようと、イベントを企画したり、若者の活躍の場をつくっている「NPO法人 neomura」。代表の新井佑さんあらいたすくは「用賀サマーフェスティバル」の発起人です。2005年にゼロからイベントを立ち上げ、地域全体を盛り上げようと企画から資金調達まで学生が主体になって行ってきました。『地域でデカい祭りをやりたい!』と動き始めたとき、自分がやりたいと思ったことを、商店街の方やまちの人たちが『いいね!』って応援してくれて、その経験が原点ですね」と新井さんは振り返ります。

イベントはこれまでに14回開催し、2016年にNPO法人化。



若者とまちをつなげる

NPO 法人
neomura
ネ オ ム ラ

**まちの
市民力!!**

取材・事務局

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します



2018年には「ネオバル」という店を期間限定でオープンして、用賀にゆかりのある社会人や学生が日常的に交流できる場を運営してきました。月1回イベントを開催し、ここでのゆるやかなつながりから「チーム用賀」が誕生。「用賀にゆかりのある人が中心となって立ち上げた住民主体の地域コミュニティ」として月1回集まり、neomuraが毎月の定例会の運営補助を行っています。

「チーム用賀」から「何かやろうよ!」と始まったのが、クリーン活動「用賀 BLUE HANDS」。第1土曜と第3日曜の朝、まちをきれいにしています。「ごみ拾いは手段で、あくまでも地域とのつなが

りが目的です」と新井さんはいいます。だれでも気軽に参加することができ、最近は子連れのパパ・ママの参加が目立ちます。ごみ拾いのあと、みんなでピクニックをすることも。新井さんも1才のお子さんを育てるパパ。子育て世代や働く世代の地域とのつながりが断絶されているのを感じてきました。「こうしたアナログな活動を通じて、少しでも地域に輪が広がっていくば」と願っています。

15回目となる用賀サマーフェスティバル。2019年はいったんお休みし、2020年以降の開催にむけて新たな準備を進めています。「自分がやりたいことを大事にして、まずはやってみる。そうすればだれかが応援してくれるし、やるべきことも見えてくる」自身の経験からそう話し、学生の「やりたい!」気持ちを後押ししています。大好きな用賀のまちを盛り上げるため、neomuraは地域に新しい風を送りつけます。



一緒に「遊び場」をつくろう

神林 俊一 さん

かんばやし しゅんいち

や
せた人が
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●事務局

なり、心の支え
になりました。
「そのときお世
話になった方に
は今でも頭があ
がりません」と
笑います。

2011年の

東日本大震災後

世田谷生まれ、世田谷育ちの神林さん。子どもの遊び場の専門家として被災地や各地の遊び場づくりにかかわってきました。

神林さんが遊び場に出会ったのは中学生のころ。小学4年生から学校を休みがちになり、中学2年生のときに不登校になりました。友達に連れられて、たまたまたどりついたのが羽根木プレーパーク。そこには多様で多世代の人がいて、親や先生以外の大人と出会うことができました。遊び場での人とかかわりを通じて、自分が「ここにいてもいいんだ」と思え、足繁くプレーパークに通うように

には子どものケアのため、すぐに東北へ行き、気仙沼の冒険遊び場づくりの立ち上げにかかりました。そのまま生活の拠点を移して地元住民とともに遊び場をつくり、一般社団法人プレーワークを設立。9年間の東北生活を経て、今年世田谷に帰ってきました。

神林さんは、「子どもの遊びと育ちの場は貧困状態にある」といいます。「被災地だから大変、なのではなく、いまは日本中どこでも子どもの『遊び』を取り巻く環境が悪くなっています。かつてはまち全体が遊べる場で、遊びを通じて子どもと大人が出会っていま

した。それが今は分断されています。わざわざ「遊び場に行く」のではなく、もつと子どもたちの身近に、ご近所のちよつとした遊び場を増やす。まちづくりのなかにそんな視点を入れ込んで、子どもの遊びに理解のある大人を増やしていきたいと思っています」

そして「お世話になった世田谷のために何か恩返ししたい」と、現在は、「そとあそびプロジェクト・せたがや」の外遊び推進員として、商店街や自治会などでの外遊びを企画したり、遊び場をつくるサポートをしています。プレーパークや児童館にたどりつかない子どもたちのもとへ遊び場をつくって届けよう、というのは逆転の発想です。

「月1回でも2〜3人でも、庭でもみちでも遊び場はつくれます。子どもの外遊びに興味をもったり、近所に遊び場をつくりたい方がいたらすぐにうかがいます！」やりたい人、この指とまれ〜！

■遊び場づくりのご相談承ります！

s-k_1225@hotmail.co.jp

電話 080-5546-1480 (神林)

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れていきます。
詳細は P10 ~ 15 をご覧ください。

気軽にボランティアの会⑩
9/7 (土) 13時半 ~ 16時
代田ボランティアビューロー P 14

●小田急線沿線

- ☆代田ビューロー秋バザー&ボランティア募集 詳細 P10
- ☆梅丘ビューローバザーボランティア募集 詳細 P10
- ☆託児ボランティア募集 詳細 P12
- ☆第23回つくしんぼフェスタ2019 ボランティア募集 詳細 P12
- ☆雑居まつりボランティア募集 詳細 P13

・講演
「いのちの場合」
16時
ユンセンター世田谷
P 15

アマッチング
養成講座
~ 16時半
大学
センター P15

& オープンザドア
時半 ~ 14時半
A・泉の家 P15

NPO法人&市民活動団体対象
「運営もやもや」解決カフェ
9/19 (木) 19 ~ 21時
世田谷ボランティアセンター P14

青空まつり
9/15 (日) ※予備日 9/16 (月)
世田谷プレーパーク P14

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

☆軽運動のサポートをしてくださる方募集

詳細 P11

☆通常学級支援員の募集（有償）

詳細 P13

実家のお悩み！解決セミナー

9/8（日）14～16時

場所：コミュニティカフェなつこの
実家なんとかし隊／コミュニティカフェなつこの
P 14

もっと語ろう不登校 part23

9/7（土）14時～

人の泉・オープンスペース "Be!" P1

梅丘失語症カフェ

「高次脳機能障害」私

10/19（土）14～

場所：東京リハビリテーション
梅丘ボランティアビュー

●東急線沿線

☆高校2年生の勉強をサポートしてくださる方

詳細 P10

☆公園の花壇整備ボランティア募集

詳細 P10

☆リサイクル市バザーボランティア募集

詳細 P11

☆キッチン・お風呂場のお掃除ボランティア求む

詳細 P11

☆犬のお散歩ボランティア募集

詳細 P11

☆第15回おくさわさわやか祭りボランティア募集

詳細 P12

☆書道の講師ボランティア募集

詳細 P12

☆パソコン・スマホ指導ボランティア募集

詳細 P13

☆難病の方の通勤サポートスタッフ募集（有償）

詳細 P13

災害ボランティア

コーディネーター

9/14（土）13時半

会場：国土館

せたがや災害ボランティ

まるごとおかもと

9/8（日）10時

岡本福祉作業ホーム

京王線沿線

小田急線沿線

世田谷線沿線

東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにお
としたり、今月のあなたの『おたがいさ』を書き入れてみてはいかがでしょうか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動（アクション）の目安には是非ご活用ください。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ボランティア求む

東 高校2年生の勉強をサポートしてくださる方

特別支援学校高等部に通う男の子の勉強をサポートして下さる方を募集します。進学を視野に入れた勉強をしていきたいと思っています。(数学と理科)

先天性筋疾患のため身体が不自由で、ページをめくったり文字を書くのが難しく、ひとりでは勉強を進めていくことができません。コミュニケーションはできるので、ページをめくったり、回答を書いたり、わからない部分を教えてください。詳しくは、お問い合わせください。

東 公園の花壇整備ボランティア募集

玉川北公園の花壇整備ボランティアグループ「スカイラク(ひばり)」が、メンバーを募集しています。月1回の活動が基本で、水やり、草むしり、花がら摘みなどの作業を行います。現在活動中のメンバーは5名。一緒に活動して下さる方を募集します。公園の近くにお住まいで、無理なく長

しくはお問い合わせください。

●日時/平日の18時から、または20時から1時間半程度(曜日は応相談) 週2回

●場所/上馬4丁目の自宅まで

●交通/駒沢大学駅徒歩8分

●募集人数/1名

●条件/大学生、1500円支給

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 高居

TEL 5712・5100

taka@otagaisama.or.jp

期に活動できる方、連絡をお待ちしています。

●日時/毎月第3日曜10~12時

●場所/玉川北公園(玉川4丁目)

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tanabara@otagaisama.or.jp

代田ビューロー秋バザー&ボランティア募集

今年も恒例の秋の代田ビューローバザーを行います。掘り出し物も、素敵な出会いもたくさん!地域の皆さまからご提供いただいた品物を販売し、地域のボランティア活動推進のために活用させていただきます。お待ちしております。お買い物で、地域のボランティア活動を支えるお手伝いをよろしく願いいたします。皆さまのご来場をお待ちしています。事前の値付け作業から当日まで、たくさんさんのボランティアの力で成り立っています。ぜひご参加ください!

●日時/①値付け・準備

10月15日(火)~24日(木)

10~12時、13~15時

②バザー当日

10月25日(金)、26日(土)

9時半~15時(まかないあり)

●場所/代田ボランティアビューロー

●交通/世田谷代田駅徒歩1分

●問合せ/代田ボランティアビューロー 担当 前坂

TEL 3419・4545

datebora@otagaisama.or.jp

梅丘ビューローバザーボランティア募集

梅丘ボランティアビューローでは11月15、16日に毎年恒例の秋バザーを行うにあたり、準備と当日のボランティアを募集しています。内容は、提供していただいた品物の値付け作業・陳列作業などです。初めての方でもご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

31日、10~16時の間に直接スタッフまで渡してください。

●日時/10月25日~10月14日の間で都合の良い日、13~15時

●場所/梅丘ボランティアビューロー

●交通/梅ヶ丘駅徒歩5分

●問合せ/梅丘ボランティアビューロー 担当 石川

TEL 3420・2520

umebora@otagaisama.or.jp

また、秋バザー開催にあたり、バザーの品物を受け付けを開始します。受付期間は10月1日~10月

東 リサイクル市 バザーボランティア募集

世田谷ボランティア協会では、地域の皆様からご提供いただいた品物を、年に4回、リサイクル市（バザー）で販売し、その売上金をボランティア活動を推進するためのさまざまなプログラムの運営費用に充てさせていただきます。

次のバザーにむけて、事前の準備や当日の販売・片づけを手伝ってくださる方を募集しています。毎週火曜日の午後にはバザーグループ「てんとうむし」が、品物の仕分けや値段付け等を行っています。ご協力お願いします。

●日時／①毎週火曜日13～15時

品物の仕分け、値付け

②9月26日（木）10～16時。

特に14時以降の片づけの人手が不足しています。

（バザーは10時半～14時開催）

おいしいまかない付き。

●場所／世田谷ボランティアセンター

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●問合せ／世田谷ボランティアセンター

TEL 5712・5101

東 キッチン・お風呂場のお掃除ボランティア求む

体が弱い60代の女性が、日常生活での困難を助けてくださる方を求めています。自宅のキッチン、お風呂場など自分では手の届かないところのお掃除をお願いしたいです。まずはお問合せください。

●日時／1回1時間程度。活動日は応相談

●場所／自宅（等々力駅近く）

●条件／交通費支給（上限あり）

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

京 軽運動のサポートをしにくさる方募集

知的障害がある人たちのグループで、決まったプログラムに沿って活動しています。軽運動・トラップの活動時にサポートをしにくさる方を探しています。

サポート内容としては、声掛けや見守りが主体ですので、資格や経験はなくて大丈夫です。

●日時／毎週火曜日 17時20分～18時半

●場所／三鷹市北野ハピネスセンター

●交通／千歳烏山駅北口から小田急バス「北野水無」下車徒歩3分

●条件／年齢性別不問

交通費1回1000円支給

●問合せ／ジャンピングラビットクラブ 担当 柿崎

TEL 0422・31・8980

090・8437・3022

東 犬のお散歩ボランティア募集

玉川にお住まいの60代の女性が犬の散歩をしにくさる方を探しています。トイプードルを2匹飼っていますが、腰痛のため一人で散歩に行けなくなりました。一緒にゆっくり歩いて散歩に行ってくれる女性の方を探しています。犬がお好きな方、お待ちしています！

●日時／月・水・金曜日 17時、または18時から

※雨天の場合は中止です。

●場所／二子玉川公園やその周辺

●募集人数／2人程度

●条件／交通費支給

●問合せ／玉川ボランティアビューロー 担当 三浦

TEL 3707・3528

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。10月号掲載は9月10日（火）に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

東 第15回おくさわわか祭ボランティア募集

園内にて「第15回おくさわわか祭」を開催いたします。当日、模擬店やゲームコーナーなどで販売や会場整備などを行なっていたくボランティアさんを募集しています。ボランティアが初めての方も大歓迎です。興味のある方はご連絡下さい。

●日時／10月26日(土)10時半～15時

小東 第23回つくしんぼフェスタ2019 ボランティア募集

障害者が通所している施設での地域交流のイベントです。ゲームや屋台など、運営のお手伝いをお願いいたします。また、利用者と一緒に時間を過ごしてくださる方も募集しています！お気軽にお問い合わせください！

●日時／10月19日(土)9～16時のうち都合のよい時間帯。

※雨天決行

●場所／世田谷区立奥沢福祉園
●交通／自由ヶ丘駅、九品仏駅
●問合せ／世田谷区立奥沢福祉園
担当 金谷・須佐・立石・三上
TEL 5758・3546
okusawa@kuseikai-tky.or.jp
http://www.kuseikai-tky.or.jp/~iku-okusawa/

●場所／世田谷区立三宿つくしんぼホーム
●交通／下北沢駅、三軒茶屋駅徒歩20分
●募集人数／若干名
●条件／10月4日(金)までに、ご連絡ください。
●問合せ／世田谷区立三宿つくしんぼホーム 担当 松永
TEL 3411・4711
tukushi@akeocne.jp

東 書道の講師ボランティア募集

「岡本福祉作業ホーム 玉堤分場」は、障がいをもたれた利用者さんが通う福祉施設です。月1回の頻度でリハビリも兼ねて、書道に取り組んでいます。文字を書く楽しさや上達の喜びと一緒に味わいませんか。見学からでも結構です。お気軽にご連絡ください。

小世 託児ボランティア募集

世田谷区タウン症の会「ふたばの会」です。

①10月6日(日)に保護者向けの講演会を予定しています。その際に子どもたちの相手をしてもらえるボランティアを募集しています。

②9月以降、毎月定期的に行事を開催する予定です。その時に子供たちの相手をしてもらえるボランティアを募集しています。子供好きな方、ぜひ楽しい時間を過ごしませんか？お申し込みはメールまたは電話でご連絡ください。気軽にお問い合わせください。

●日時／9月1日～来年3月末
●場所／岡本福祉作業ホーム 玉堤分場
●交通／尾山台駅徒歩15分
●問合せ／岡本福祉作業ホーム 玉堤分場 担当 細田
TEL 5707・9431
tanaturni@zumiikai.jp
http://zumiikai.jp/

●日時／
①10月6日(日)10～12時
②9月8日、10月13日、11月10日、12月8日(いずれも日曜日、10～12時)
●場所／①太子堂区民センター
②松原6丁目福祉施設(旧たすけつと)
●交通／①三軒茶屋駅徒歩4分
②梅ヶ丘駅、山下駅徒歩7分
●募集人数／5名程度
●条件／高校生以上の方
●問合せ／世田谷区ふたばの会 担当 三浦
060・4821・4602
supporters@futabanokai.com
http://futabanokai.com

東 パソコン・スマホ指導ボランティア募集

まったく初心者の方のシニアの方にも、繰り返しやさしくパソコン・スマホの使い方を指導して下さる方を募集しています。できれば40歳〜70歳くらいの男女で、世田谷区在住の方を希望します。ボランティアですが、交通費程度の御礼をお支払いします。教室にきて多少の指導力のある方を望みます。

●日時/①スマホ教室：土曜14時50分〜17時 月2〜3回
②パソコン教室：火、金 月3回〜6回 15〜17時

●場所/①玉川ボランティアセンター、②三軒茶屋キャロットタワー3階

●交通/①三玉川駅徒歩5分、②三軒茶屋駅近く

●条件/①スマホを教えるのが好きで世田谷区在住の方。交通費程度支給（上限あり）②多少経験者を望みますが経験なくてもいいです。交通費程度支給（上限あり）

●問合せ/NPO法人世田谷なかなよしパソコン 担当 中垣
090・5304・6151
zzynot@gmail.com

小 雑居（ぎつきよ）まつり ボランティア募集

たくさんの方のボランティアグループや団体が参加して市民の手でつくる、にぎやかなお祭りです。世田谷ボランティア協会も出店し、屋外バザーや子ども向けのわねやさんをやります。一緒に活動してくださる方、募集中！

●日時/10月13日（日）9〜17時の間で相談（雨天時翌日順延）
●場所/羽根木公園
●交通/梅ヶ丘駅徒歩5分
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎
TEL 5712・5101

有償スタッフ募集

東 難病の方の通勤サポート有償スタッフ募集

関節の炎症のためひとりで歩行が難しい女性教員が、通勤サポート（車の運転、歩行時に荷物を持つ）（片道40分程度）と、仕事場、自宅でのPC作業（メールチェック等）を手伝って下さる方を探しています。通勤にはベットのトイプードルが同行します。おとなしく眠っていることが多いので、お世話はほぼ不要ですが、見守りをお願いしたいです。まずはお問合せください。

●日時/木曜日・月2回程度11〜

19時半（およその活動時間帯）
●場所/自宅（野毛2丁目）とおよび職場

●交通/自宅最寄は上野毛駅

●募集人数/1名

●条件/1回（8.5時間の場合）8670円（10200円/時）集合場所までの交通費別途支給 女性希望、年齢不問

●問合せ/玉川ボランティアセンター
TEL 3707・3528
tanaborae@otagaisama.or.jp

京世 通常学級支援員の募集

小学校の通常学級で、配慮を必要とする児童の学習活動の支援をお願いできる方を探しています。経験は問いません。子どもが好きなら、子どもと一緒に活動して下さる方を求めています。曜日・時間は相談してください。詳しい内容は、お問い合わせください。

●日時/月、金、土曜は月1回
●場所/世田谷区立松沢小学校
●交通/下高井戸駅徒歩2分
●募集人数/4名程度
●条件/子どもが好きな方、根気強く子どもと接して下さる方
●問合せ/世田谷区立松沢小学校 校長 濱辺 副校長 大島・山田
TEL 3323・0441
daio11@setagaya.ed.jp
http://school.setagaya.ed.jp/mawa/

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

東 NPO法人&市民活動団体対象 「運営もやもや」解決カフェ

- 少人数ゼミ方式のワークショップを通じて、自団体の隠れた問題を発見し、解決のヒントをさがります。この機会を通じて、この場で出会えた「困りごと」の当事者同士から学び合い、全国各地のNPO伴走支援を行うプロの視点からも、解決の糸口をつかみましょう。
- 日時／9月19日（木）19～21時
 - 場所／世田谷ボランティアセンター
 - 対象／市民活動団体やNPO法人で活動している方
 - 交通／三軒茶屋駅徒歩12分
 - 講師／美濃部真光（NPO法人地球と未来の環境基金）
 - 募集人数／12名
 - 参加費／無料
 - 申込み／氏名、団体名、活動歴、あれば団体内での役割・役職を記載の上、メールまたは電話でお申込みください。
 - 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎・大垣内
TEL 5712・5101
setdoba@otagaisana.or.jp

東 青空まつり

模擬店やバザール、子どもたち向けのゲームやワークショップ、ステージなどもたくさん。地域の交流を目的としたお祭りです。みなさん遊びに来てくださいね！

- 日時／9月15日（日）（予備日 9月16日（月））
- 場所／世田谷プレーパーク（世田谷公園内）
- 交通／池尻大橋駅徒歩12分、三軒茶屋駅徒歩15分
- 問合せ／世田谷プレーパーク
TEL 3795・2160

小 気軽にボランティアの会⑩

先輩活動者のお話を聞きながら、ご自身に合った活動をみつけてみませんか？ 今回で10回目となるこの会をきっかけに、たくさんの方がボランティア・地域活動への一歩を踏み出されています。令和元年は新しいこと、始めませんか？ はじめの一歩、まずは気軽にご参加ください。

- 日時／9月7日（土）13時半～16時
- 場所／代田ボランティアビュロー
- 交通／世田谷代田駅すぐ
- 参加費／300円（茶菓子・資料代）
- 問合せ／代田ボランティアビューロー 前坂
TEL 3419・4545

京 実家のお悩み！解決セミナー

今回のテーマは「後見、信託、遺言」はどうする？ フロに聞く中高年の財産管理」。認知症になったら後見人が必要なの？ 遺言は残さなきゃダメ？ 家族信託って何？ 入院や入所の際に、保証を求められたけど…結局、私は何をすればいいの？

- 保佐、補助、任意後見、公正証書、家族信託など、財産サポートについて飛び交う様々な専門用語について、現場で中高年の財産と暮らしの見守りを担う司法書士から学びます。
- 参加費／500円からのお気持ち
 - 制／ワンダリングクオーター
 - 問合せ／実家なんとかし隊／コミュニティカフェなつこのこ
TEL 5969・8457
info@natsumoko.com
https://jikanantokashi.tai.com/
 - 日時／9月8日（日）14～16時
 - 場所／コミュニティカフェなつこのこ
 - 交通／千歳烏山駅徒歩5分
 - 講師／小島 健（からすやま司法書士事務所）
 - 定員／15名

小 災害ボランティア

マッチングコーディネーター養成講座

災害時に被災者と災害ボランティアのニーズをつなぎ、より良く支援活動が行われるように調整するスタッフを「災害ボランティアマッチングコーディネーター」といいます。その養成講座を開催いたします。大勢の方の受講をお待ちしております。

講座受講後、「マッチングコーディネーター」への登録もお願いします（希望者のみ）。

●日時／9月14日（土）13時半～16時半

●会場／国士舘大学

●交通／梅ヶ丘駅徒歩9分

世 もつと語ろう不登校 part 2308

これまで25年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお話し合われます。どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／9月7日（土）14時～

●場所／人の泉・オープンスペース

●参加費／無料（要申込）

●申込み／お電話かメールでお申込みください。メールの場合、件名を「災害VMC講座申込み」として、氏名・住所・電話番号（あれば所属）をご記入ください。

●主催／世田谷ボランティア協会 世田谷区

●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター

TEL 5712・5101

saiga@otagaisama.or.jp

（火～金9～21時、土日20時まで。月・祝日休館）

ス「Be」

（世田谷区赤堤1-15-13）

●参加費／300円（カンパ歓迎）

●交通／山下駅徒歩5分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 佐藤

TEL 5300・5581

東 まるごとおかもと&オープンザドア開催

障がい者福祉施設の施設公開行事です。楽しいゲーム・体験コーナーやショーを行ったり、やさそばやクレープ、わたあめやオリジナル製品を販売したりします。

●日時／9月8日（日）10時半～14時半

●場所／岡本福祉作業ホーム・泉の家

●交通／①成城学園前駅南口下車

後、東急バス「都立大学駅北口」行「岡本三丁目」下車徒歩5分

②「子玉川駅」下車後、東急コチバス「成育医療センター」行「岡本もみじが丘」下車徒歩5分

●問合せ／社会福祉法人 泉会 担当 山田

TEL 3415・3366

https://izumi-kai.jp/

小世 梅丘失語症カフェ・講演「高次脳機能障害 私の場合」

突然の交通事故により高次脳機能障害を負い、講師として期待されていた悟道軒圓玉さんの人生は一夜にして変わってしまいました。その圓玉さんが講師として復活するまでの過酷なりハビリや人生を心を込めて語ります。

●日時／10月19日（土）14～16時

●場所／東京リハビリテーションセンター 世田谷

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分、豪徳寺駅・山下駅徒歩9分

●定員／100名

●参加費／300円

●申込み／お電話かメールでお申込みください。メールの場合、件名を「10月19日講演会申込み」として、氏名・電話番号をご記入ください。

●申込み切／10月15日（火）

●問合せ／梅丘ボランティアビュー

ロー 担当 横井

TEL 3420・2520

unehor@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

今年の「ナツボラ」は、小学生から大学生まで400名以上が参加しました! 秋はイベントシーズン。日常のあちこちにボランティア活動のチャンスがあります。ぜひ一緒にしましょう。

◆ふらっと&withより

9月でもまだまだ暑い! ケアセンターふらっとのメンバーさんたちはアイスノンや帽子、水筒を持参して猛暑対策をしています。以前は車椅子に扇風機をつけている人もいました。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

チャイルドラインは子どもにとって「こころの居場所」のひとつになればと活動をしています。夏休みが終わるこの時期も、話したいことがある時、安心してかけてきてほしいと願っています。

編集後記

- 8/21 ナツボラ特別企画として、学生による「ナツボラ食堂」を開催し、地域の方をお招きしました。メニューや広報を話し合い、おもてなしを工夫。たくさんの方でにぎわい、夏らしく、そうめんを囲んで交流を楽しみました!
- コーヒーの次は、三茶にタビオカの波が。(み)
- おたがいさまbankのメルマガを見てボランティアをしたいというお問合せが増えてきて、とても嬉しいです。登録をしたい方は当協会のホームページからお願いします。(こ)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811

- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

